

2016年7月

ご投資家のみなさまへ

新光投信株式会社

「公社債投信1月号～12月号」の運用について

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社で運用させていただいております投資信託「公社債投信1月号～12月号」(以下、「公社債投信」)の今後の運用等についてご案内させていただきます。

■投資環境および今後の運用について

日本銀行による「マイナス金利政策」導入以降、国内債券市場の利回りは一段と低下し、新発10年利付国債利回りもマイナス圏まで低下しています。その結果、公社債投信におきましてもプラス利回りの債券を確保することが困難になってきており、収益力が低下しています。また、2016年4月18日より信託銀行が、投資信託の余裕資金を運用する無利息金銭信託に手数料を課すなど、運用上のコストも増加しています。

弊社では、無利息金銭信託への手数料課金を受けて、利回り0%の債券買い付けや手数料よりも小さいマイナス利回りの短期金融商品で運用するなど、運用収益維持のため引き続き最善を尽くしてまいります。しかしながら、市場金利のマイナス環境が継続した場合あるいは一段とマイナス幅が拡大した場合など運用環境によっては、公社債投信の基準価額が下落し投資元本を下回ることも想定されますので、投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

■購入のお申し込み受付の一時停止について

投資環境等を勘案した結果、公社債投信について、2016年8月23日より購入のお申し込み受付を一時停止させていただくことといたしました。

ただし、分配金再投資、財形貯蓄制度など既存の契約に基づく自動買付にかかる購入につきましては、お申し込み受付の一時停止の対象外といたします。なお、換金のお申し込みの受付については、通常通り受付いたします。購入のお申し込み受付の再開に関しましては、投資環境やファンドの資産の状況等を勘案して検討してまいります。

■運用管理費用(信託報酬)の引き下げ

2016年6月21日より運用管理費用(信託報酬)を以下のとおり引き下げております(変更箇所は下線部分です)。

| 年換算収益率(*1)      | 変更前             | 変更後                   |
|-----------------|-----------------|-----------------------|
| 0.284%以上        | 1.1659% (上限値)   | 1.1659% (上限値)         |
| 0.20%以上0.284%未満 | 0.12181%        | 0.12181%              |
| 0.10%以上0.20%未満  | 0.06067%        | 0.06067%              |
| 0.10%未満         | <u>0.01005%</u> | <u>0.01005%以内(*2)</u> |

(\*1)当該計算日までの3ヵ月間の基準価額(分配金を含みます。)の年換算収益率

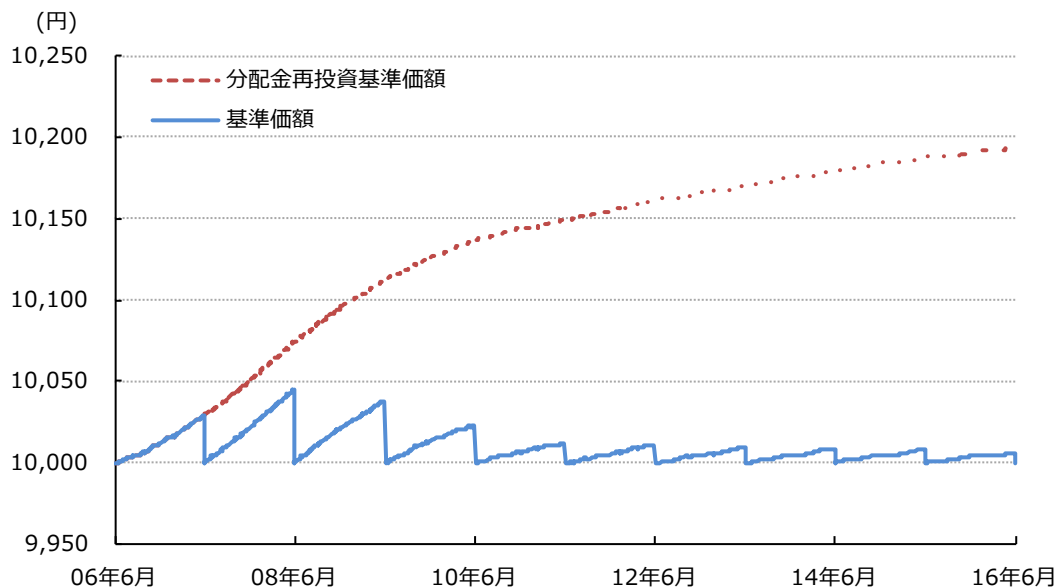
(\*2)2016年6月21日以降は0.00100%を適用

何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

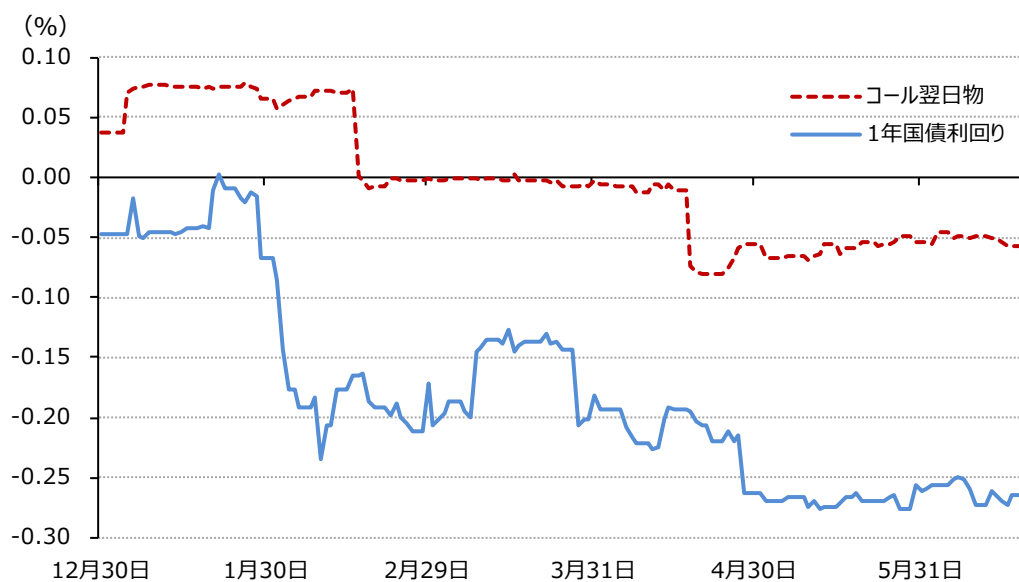
1. 基準価額の推移（10年間）

公社債投信 6月号(2006年6月20日～2016年6月20日（日次）)



※ご参考の一例として、公社債投信 6月号の過去10年間の基準価額の推移を掲載しています。  
 ※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後の価額です。換金時の費用・税金などは考慮していません。  
 ※分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したとみなして計算した理論上のものであり、実際の基準価額とは異なります。

2. 円建て公社債の金利の推移（2015年12月30日～2016年6月20日（日次）)



出所：ブルームバーグのデータを基に新光投信作成

※上記のグラフは過去の実績を表示したものであり、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 委託会社 統合のお知らせ

新光投信株式会社は、2016年10月1日にみずほ投信投資顧問株式会社、DIAM アセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社（資産運用部門）と統合し、以下のとおり商号等を変更いたしました。なお、統合後もファンドの運用方針に変更はございません。

商号等： アセットマネジメント One 株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 324 号  
加入協会： 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会